

土と芽だより

平成 30 年 4 月 123 号

今年の冬は寒さが厳しく、春の訪れが待ち遠しく
待ちに待った桜は例年よりも早く開花し、お花見の
シーズンもあっという間に終わってしまいました。

さて、2月、3月に行われた平昌(ピョンチャン)
冬季オリンピック・パラリンピックでは選手の活躍
に勇気づけられた方も多と思います。諦めずコツ
コツ続けることの大切さを改めて感じました。

そして、4月に入り新年度が始まりました。初め
てのことが多く不安や心配もありますが、ドキドキ
をワクワクにかえて何事にもチャレンジしていき
ましょう！

発行



〒660-0893

尼崎市西難波町2-3-10

TEL6419-3897/FAX6419-3899

E-mail : ikuseikai.ama@y3.dion.ne.jp

http://www.ikusei-ama.com/



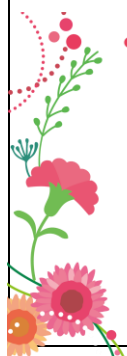
ありがとう

行事報告



行事名	学齢期研修会				
日時	1月19日(金)	場所	中央公民館	参加者数	39名
内容	講演：知的・発達障害をもつ子ども達のための思春期講座 講師：元福祉施設職員、ファイナンシャル・プランナー 鹿野佐代子 氏 「内容」 通勤寮に勤務していた時の経験を元に、具体例を挙げていろいろな話を聞くことができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・性の問題はマナーの問題につながっている。マナーを家庭内で教えることが大切。 ・一度教えたからできているはずと思わず、時間が経てばまた確認が必要。 ・性を否定する事はその人の生を否定すること。性に関心があるのは自然なことで、周りがそのことを非難すると本人が隠すようになり問題が潜在化してしまう。 親と支援者とが連携して同じ考えで支援する事が大切。 <ul style="list-style-type: none"> ・LINE やネット上でのトラブルも増えているので本人への教育が必要。 				
行事名	第3回 地域活動支援センター運営委員会				
日時	1月19日(水)	場所	事務所	参加者数	5名
内容	協議事項 1. 近況報告 2. 活動と仕事の内容について 3. 今後の予定 4. 来年度の職員体制について 5. その他				
行事名	第2回バザー委員会				
日時	2月15日(木)	場所	かがやき(七松)	参加者数	14名
内容	協議事項 1. 売り上げ報告 2. 今年度バザーの反省 3. 来年度について				

行事名	AプロI (子育てカフェ)				
日時	2月16日(金)	場所	かがやき(七松)	参加者数	12名
内容	<p>*いろいろな子育てを知ろう*</p> <p>「内容」 2名のあこや卒園の母を招き、子育ての話を聞く会</p> <p>*高等部を卒業し選んだ新たな進路とは *あこやから地域の学校、そして大学へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までにあまり聞いたことのない進路先なので関心は高くこのような場を設けることは意義深いと思った。 ・障害のある人が「敷かれたレールを歩む」から「新たな選択肢が増えている」という感覚に変化してきている事を学ぶことができた。 ・卒業後の進路も、どのような道を歩まれるのか後日談も楽しみ♥♥♥ 				
行事名	AプロII委員会				
日時	2月21日(水)	場所	かがやき(七松)	参加者数	6名
内容	<p>*講演会(2回)の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/26 要援護者災害支援シンポジウムⅢ 「自分らしい防災、はじめて見ませんか」 ・1/17 県権利擁護部会 「災害時の在宅知的障害者の避難誘導の在り方」 <p>*シミュレーションワーク</p> <p>家が倒壊しそうという設定で1時間後、2時間後…1日後に自分たちがどんな行動をとっているか、そこから問題点が分かってくる。</p> <p>来年度も地区懇談会や各家族会などでワークを実施予定。</p>				
行事名	Aプロ全体会				
日時	2月22日(木)	場所	中央公民館(小ホール)	参加者数	24名
内容	<p>1. 今年度の報告について</p> <p>AプロI</p> <p>*今年度から「まんまるはーと」の活動は啓発事業へ移行したので「子育てカフェ」という場を立ち上げた。テーマに沿った集まりを3回行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの学校(テレビドキュメンタリー)鑑賞会 ・「自閉症の子の気持ちって？」をテーマに東田直樹さんのドキュメンタリー番組「自閉症の君が教えてくれたこと」の鑑賞とRPM学習法についての紹介 ・「いろいろな子育てを知ろう」…2名の先輩母の子育ての話 <p>AプロII</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震・津波等防災時の安否確認について(伝言ダイヤルの使用法等) ・雑誌「防災ブック」を参考にお湯だけで出来る料理を実際に作った。 ・GH見学 ・防災に関する育成会以外の研修会に参加 <p>AプロIII</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福成会との話し合いを2回実施 1回目はGH利用についてのアンケートを取ってその結果をもって成年期部会で話し合い、2回目はAプロ委員で新しい事業「リレくらしサポートセンター」の説明および日中一時支援を福成会で行えるよう要望した。⇒現状の職員体制では無理 ・きらくえんの施設3ヶ所を見学する。(神戸、芦屋、尼崎) <p>2. 次年度の予定について</p> <p>AプロI 子育てカフェを年3回実施する予定。内容は次回の委員会で話し合う。</p> <p>AプロII 防災に関する研修会に参加し情報を得る。GH見学は行なわない。</p> <p>AプロIII 予算総会できらくえんの市川名誉理事長の講演を聞いた後、複合施設かGHか本当に必要なのはどちらかを検討し、建設に向け実行委員会を立ち上げる。</p>				

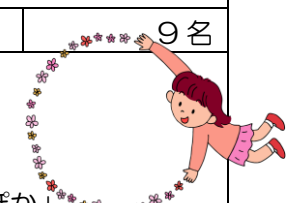




その他報告



行事名	県第2回学齢期部会（第3回相談員研修会併催）				
日時	1月15日（月）	場所	兵庫県民会館12F 1202会議室	参加者数	9名
内容	講演 「僕が自閉語を学ぶわけ」～エピソードで語る教師力の極意～ 講師 ノートルダム清心女子大学人間生活学部児童学科 准教授 青山 新吾 氏 ・青山氏が関わってきた子どもの事例を聞くことが出来た。 ・障害を持っている人は不思議なバランスの中でのいる。 ・何でもわかっているかといったらそれは疑問。 ・それぞれの「家庭の流儀」が影響する。				
行事名	福成会を支援する会				
日時	1月16日（火）	場所	塚口福成園会議室		
内容	1. 加入状況 … 1月15日現在 298名、7団体 2. 福成会新規GH開設時への支援について ・これから福成会が開設するグループホームについて支援する会より支援する方向だが、金額など一定のルールについては次回の役員会で決定する。				
行事名	県第1回権利擁護委員会研修会（第4回相談員研修会併催）				
日時	1月17日（水）	場所	県福祉センター	参加者数	4名
内容	講演 「災害時の在宅知的障害者の避難誘導の在り方」 講師 ひょうご防災特別推進員 志築 芳和 氏 ・阪神淡路大震災は何秒揺れたか？（15秒） ・地震で1分以上揺れたら津波がくる。 ・南海トラフ巨大地震がおきたとしたら6時間は動かないように。 ・避難する時は家のブレーカーをおとす。通電火災とは電気を復旧した時におこる火災。 ・南海地震の津波が兵庫県に到達するまでの最短時間は？（44分） ・福祉避難所は災害時に必要に応じて開設する2次的避難場所で最初から利用することはできないなどと市町村で異なる。（尼崎市は教育委員会に一時避難所で学校の教室をあけてほしいとお願いしている） ・非常食の備蓄法「ローリングストック法」 ⇒ 食べながら備える（1年以内と5年位賞味期限のあるものを備蓄する）				
行事名	第6回全国権利擁護セミナー（手をつなぐ3月号P34～35参照）				
日時	1月26日（金）	場所	広島市総合福祉センター	参加者数	2名
行事名	近畿手をつなぐ育成会リーダー養成研修				
日時	1月30日（火）	場所	神戸市育成会会館	参加者数	9名
内容	「共生社会の実現を目指して ～知的障害疑似体験～」 ＊中央情勢報告 全国手をつなぐ育成会連合会 会長 久保 厚子 氏 午前 プレゼン① たつの市手をつなぐ育成会 「ぴーす&ピース」 プレゼン② 社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会 「ぽっかぽか」 午後 プレゼン③ 一般社団法人 尼崎市手をつなぐ育成会 「まんまるはーと」 プレゼン④ 一般社団法人 宝塚市手をつなぐ育成会 「宝塚すみれ隊」 プレゼン⑤ 一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会 「輪・和・WA」 ＊近畿各地の「キャラバン隊」が発表し、各地域でキャラバン隊の立ち上げを勧める。				
行事名	県第2回権利擁護委員会研修会（第5回相談員研修会併催）				
日時	2月9日（金）	場所	兵庫県学校厚生会館	参加者数	8名
内容	講演：「座間キャラバン隊による啓発」 講師：座間キャラバン隊 ＊啓発を始めたきっかけ、活動についての話を聞きワークショップを行った。				



行事名	福成会を支援する会		
日時	2月26日(月)	場所	塚口福成園会議室
内容	1. 福成会新規 GH「ホームリベルタ I & II」開設の賛助金を決定するにあたりこれからの新規 GH 開設時の基準を取り決めた。 ・ 5名以下 … 100万円 ・ 10名以上または2か所同場所 … 150万円 ・ 地域拠点事業所または日中支援型 GH 等の多機能型事業所 … 200万円 (制度動向により変更あり) * 今回の取り決めにより「ホームリベルタ I & II」開設に伴い 150万円支援する。		
行事名	第5回福成会理事会		
日時	3月8日(木)	場所	塚口福成園食堂
内容	第19号議案 給与の一部を改正する規程について 第20号議案 第5期マスタープランの制定について 第21号議案 収支補正予算(第3次)について 第22号議案 事業計画及び収支予算について 第23号議案 総務部の課長の任命について ⇒ 宮前典幸、島 祐貴 第24号議案 あいあい及びあいあい相談支援事業所所長の任免について 島 祐貴 ⇒ 水元 豊 第25号議案 第3回評議委員会の招集について		

平成 29 年度要望書回答

平成 30 年 2 月 6 日 (火)

29 年度も尼崎市に要望書を提出し左記のような回答をいただきました。



1. 尼崎市内に複合施設の建設

・ 高齢化、医療ケアに対応し、ショートステイや相談支援を併設した施設
 回答 30 年 1 月より地域生活支援拠点 (面的整備型) を設置

1. 知的障害児に対するインクルーシブ教育の推進

・ 知的障害児への合理的配慮の整備
 回答 同じ場で共に教育出来るように小中学校連続性の学びの場を考えている。
 補助手段として、コミュニケーションを取れるように写真、文字盤、タブレット端末を利用

1. 知的障害児に対する教育効果が高まるような方策を

・ 特別支援学級にタブレット端末の導入及び生活やコミュニケーションツールとして活用
 回答 タブレット端末は有効な情報手段として取り入れている。市内中学校に各 3 台、小学校各 40 台、支援学校にも必要な台数はある。コミュニケーションツールとしては検討課題とする。

1. 公共機関に特例子会社のような部署を設置

回答 チャレンジ事業の拡大、雇用人数の拡大、支援者 1 名増。一人ではなく 2~3 人が利用できるように。長期の人を雇うより多くの人にチャンスを与えられるように考えている。

1. 災害時における知的障害児・者への適切な対応

回答 福祉避難所 22ヶ所設置。今後も社会福祉施設に協力をお願いする。

1. 選挙における知的障害者への合理的配慮

・ 知的障害者に配慮した投票環境の整備
 回答 各投票所に代理投票できる職員が配置されている。どんな事が困っているか教えてほしい。



1. リハビリセンターの設置

回答 県でワーキングチームを立ち上げて実態調査をしている。市独自では難しい。

…… 計 報 ……

11月~4月10日まで

11月 小川 貫也 様 (清流園 小川 悟さん お父様)
 1月 増田 恵子 様 (あいあい 増田 哲也さん お母様)
 3月 竹之下 博 様 (清流園 竹之下 芳さん お父様)
 4月 小野江 清八 様 (塚口福成園 小野江雅史さん お父様)

こころよりご冥福をお祈りいたします

理事会報告

第56回理事会 2月8日

1. 要望書の回答について…P4 紙参照
2. 平成29年度補正予算 3. 平成30年度事業計
4. 平成30年度予算 5. 各部・研修会報告
6. その他

*来年度尼崎育成会 60周年を迎えるため記念式典・講演会を行う。

日時 7月13日10時～ 場所 尼崎商工会議所
講師 筑波大学 大村美保氏

第57回理事会 3月6日

1. 平成29年度補正予算 2. 平成30年度予算
3. 地区懇談会の報告 4. 予算総会の役割分担
5. 各部・研修会報告
6. その他

*えんびつ販売及び会費見直しについて 30年度中に検討する。

行事報告

月日	曜日	行 事	月日	曜日	行 事
1/13	土	成人式・還暦祝と新年おめでとう会	2/15	木	バザー委員会
1/15	月	相談員研修会(学齢期部会併催)	2/16	金	AプロI(子育てカフェ)
		自立支援協議会あまっこ部会	2/19	月	中央・大庄地区懇談会
1/16	火	福成会を支援する会			自立支援協議会あまっこ部会
1/17	水	阪神大震災追悼式	2/20	火	まんまるはーと(難波小)
		県権利擁護研修会			きらくえん見学(須磨、芦屋、尼崎)
1/19	金	学齢期研修会(鹿野佐代子氏)	2/21	水	AプロII委員会
		かがやき運営委員会	2/22	木	Aプロ全体会、合同作品展打ち合わせ
1/20	土	兵庫県総合リハビリテーションケア研究会	2/23	金	立花・武庫地区懇談会
1/23	火	賀詞交換会	2/27	火	自立支援協議会くらし部会
1/24	水	AプロチームⅢ(福成会との懇談会)	3/6	火	理事会
1/26	金	全国権利擁護セミナー(広島市)	3/7	水	心障連役員会
1/30	火	近畿リーダー養成研修会(神戸市)	3/8	木	阪神特別支援学校高等部卒業式
2/4	日	あこや学園生活発表会	3/13	火	障害者差別解消地域協議会
2/5	月	リーフレット策定委員会			自立支援協議会全体会
2/6	火	要望書回答	3/16	金	予算総会
2/7	水	公有財産個別面談	3/19	月	自立支援協議会あまっこ部会
2/8	木	理事会	3/20	火	阪神地区連絡協議会
		ミーツ・ザ・福祉実行委員会	3/23	金	あこや学園卒園式
2/9	金	県権利擁護部会研修会(相談員研修会併催)	3/24	土	みんなの音楽会
2/13	火	小田・園田地区懇談会	3/27	火	学齢期バスツアー(いちご狩り・有馬富士公園)

*兵庫県手をつなぐ育成会行事報告

月日	曜日	行 事	月日	曜日	行 事
1/4	木	県関係者新年互礼会	2/10	土	北播磨ブロック地区保護者研修会
1/9	火	三役会	2/16	金	障害者社会参加推進協議会
1/10	水	福祉三団体知事への新年あいさつ	2/25	日	本人活動支援部会
1/12	金	成年後見人養成講座	3/1	木	全国手をつなぐ育成会連合会フォーラム
1/15	月	県学齢期部会	3/2	金	〃 会長会、行政説明会
1/17	水	阪神大震災追悼式	3/5	月	ひょうご発達障害者支援センター連絡協議会
1/18	木	成年後見人養成講座	3/8	木	三役会
1/20	土	県リハビリテーション理事会・研修大会	3/9	金	理事会、サポート協会理事会
1/23	火	福祉七団体賀詞交歓会	3/18	日	美術工芸作品選考会
1/26	金	全国権利擁護フォーラム	3/19	月	評議員会
1/30	火	近畿リーダー養成研修会	3/22	木	市町障害保健福祉説明会、社会保障審議会児童
2/1	木	成年後見人養成講座	3/23	金	社会保障審議会総会
2/2	金	三役会、サポート協会役員会	3/25	日	美術工芸作品表彰式
2/5	月	近畿ブロック役員会	3/26	月	会長会・サポート協会総会
2/9	金	県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会	3/28	水	県社協評議員会

【地区懇談会報告】

第2回地区懇談会では、学齢期の活動報告と事前にとったアンケートについて意見交換を行いました。当日はたくさんのご意見・アドバイスをありがとうございました。抜粋したものと会場からの主な意見を下記に掲載しました。これからも沢山のご意見お願いいたします。

地区	月日	場 所	参加者数
中央・大庄	2/19(月)	中央公民館	15名
小田・園田	2/13(火)	小田支所	25名
立花・武庫	2/23(金)	女性センター トレピエ	25名

【アンケート抜粋】

① 教育関係について

- ・同じ市内でも学校によって方針や先生の対応が違うと聞きく。子どもが学校とあわなかった時、どのように解決されてきたのか？
- ・就学は支援学校になると思うが、勉強をほほ教えないと聞いている。先日のRPMの講演を聞いて、子ども達は学ぶ力はあるし、実際家庭で教える時も知識がつくのが嬉しそうです。今後どのように学んでいけばよいのか、先輩たちがどのようにされているのか知りたい。

② 病院などの医療関係について

* 幼児期・学齢期

- ・継続的に発達相談ができる病院がなくて不安。
- ・PT、ST、OT 総合的に受けられる病院、施設があると便利。受けられる場所の情報が知りたい。
- ・じっと座ってられないので、診てもらえない事がある。(歯科・眼科で経験あり)

* 成年期

- ・通院を嫌がり、ヘルパーさんと一緒にないと行けないので、急に行きたいときに困る。
- ・市から定期健診の封書がくるが、各個人で病院に行かないといけな。特に女性は婦人科関連もあるので、1年に1度何回かに分けて、集団健診が出来たらと思います。

③ 福祉サービスについて

* 幼児期・学齢期

- ・デイサービスの情報を色々知りたい。
- ・男の子なので小学校を卒業したら男性の支援員さんとも外出する機会が欲しい。

* 成年期

- ・看護師が常駐しているヨートステイ事業所がほとんどなく利用しづらい。
- ・急に家族のものが病気になった時など、日中の事業所で何時間か見守ってほしい。

④ 将来について

* 幼児期・学齢期

- ・生活していくのに必要最低限の学力(簡単な計算・読み書き)がどこまで身につくのかどうか？
- ・一人でどこまで生活していけるのか、お金の管理についてどのような制度があるのか知りたい。

* 成年期

- ・親亡き後の不安。施設入居が出来るのか不安。GHに入れる見込みが今のところないので不安。
- ・強度行動障害、または重度も受け入れてもらえる施設が欲しい。
- ・GHや施設入所を考えても医療行為の事を考えると不安。

⑤ その他

* 幼児期・学齢期

- ・やめて欲しい事を何度もマカトン等で注意してもわかってもらえない。イライラして大きな声で怒ってしまう。

* 成人期 ・家庭では強いこだわりで振り回されている。年末年始の一週間が長すぎる。



【意見】

① 教育関係について

- ・各学校で受け入れ体制等も違うのでその都度学校と話し合いもつ。
- ・RPMの勉強法など障害の捉え方が違ってきている。親が勉強して先生方にどれくらいアプローチしていくかがこれからの課題。

② 病院などの医療関係について

- ・育成会でAマップを作成して障害をもつ人を受け入れて頂いている医療機関を載せているので参考にしてほしい。尼崎総合医療センターは受診しやすいそうだ。
- ・市や医療機関との相談も必要なのもあると考えていく。

③ 福祉サービスについて

- ・デイサービス(放課後デイ)などの情報は子育てカフェで取り上げています。
- ・福祉サービスについては市、育成会などと今後も要望や話し合いをしていく。

④ 将来について

- ・学齢期の方は育成会の研修や地区懇談会などに参加し先輩母からの経験談を参考にしてほしい。
- ・育成会としてGH、複合施設建設を考えているが、育成会や他の法人との協力も必要。

⑤ その他

- ・障害が重くても社会に出て行くことを考えて、日々の生活で社会のルールやマナー等を教えていくことが大事。